

# なか議会だより

2026  
8.4  
Vol.90

広報から変えていく

もっと伝わる議会へ

## CHANGES AHEAD

冊子から動画へ



伝わる広報紙へ



SNSで届ける議会へ



## TOPICS

こんなことが決まりました  
議案などの審議結果

一般質問

議会活動レポート



那珂市議会広報委員会

# 令和 8 年第 2 回定例会・第 2 回臨時会 こんなことが決まりました

令和 8 年第 2 回定例会は、6 月 2 日(火)から 19 日(金)までの 18 日間、  
第 2 回臨時会は、6 月 29 日(月)から 7 月 6 日(月)までの 8 日間行いました。

## 第 2 回定例会

市長提出案件 15 件  
請願・陳情 0 件  
議員提出案件 1 件

## 第 2 回臨時会

市長提出案件 1 件  
請願・陳情 0 件  
議員提出案件 1 件



令和 8 年定例会・臨時会 HP

## 議案等の審議結果

### 令和 8 年第 2 回定例会

| 議案等番号 | 議 案 等 名                           | 結果 | 議案等番号 | 議 案 等 名                                   | 結果 |
|-------|-----------------------------------|----|-------|-------------------------------------------|----|
| 報告 2  | 専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定） | －  | 議案 34 | 専決処分について（那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）          | 承認 |
| 報告 3  | 令和 7 年度那珂市一般会計繰越明許費繰越計算書について      | －  | 議案 35 | 那珂市介護保険条例の一部を改正する条例                       | 可決 |
| 報告 4  | 令和 7 年度那珂市下水道事業会計予算繰越計算書について      | －  | 議案 36 | 那珂市地方活力向上地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 報告 5  | 令和 7 年度那珂市一般会計継続費繰越計算書について        | －  | 議案 37 | 令和 8 年度那珂市一般会計補正予算（第 1 号）                 | 可決 |
| 報告 6  | 専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定） | －  | 議案 38 | 物品売買契約の締結について（消防ポンプ自動車購入）                 | 可決 |
| 発議 1  | 原田悠嗣議員に対する議員辞職勧告決議                | 可決 | 議案 39 | 物品売買契約の締結について（小型動力ポンプ積載車購入）               | 可決 |
| 議案 32 | 専決処分について（那珂市税条例の一部を改正する条例）        | 承認 | 議案 40 | 物品売買契約の締結について（学習用タブレット端末購入）               | 可決 |
| 議案 33 | 専決処分について（那珂市都市計画税条例の一部を改正する条例）    | 承認 | 議案 41 | 建設工事請負変更契約の締結について                         | 可決 |

### 令和 8 年第 2 回臨時会

| 議案等番号 | 議 案 等 名                 | 結果 | 議案等番号 | 議 案 等 名                         | 結果 |
|-------|-------------------------|----|-------|---------------------------------|----|
| 発議 2  | 直接請求に係る条例審査特別委員会の設置について | 可決 | 議案 42 | 那珂市複合型交流拠点「道の駅」推進事業の賛否を問う住民投票条例 | 否決 |

| 賛否が分かれた議案等                                  | 1     | 2     | 3     | 4      | 5     | 6     | 7    | 8     | 9     | 10   | 11   | 12   | 13    | 14    | 15   | 16    | 17   | 18     | 結果 |
|---------------------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|-------|------|--------|----|
| ※議長（大和田和男議員）は採決に加わりません<br>○…賛成 ×…反対 除…除斥    | 榊原 一和 | 桑澤 直亨 | 原田 悠嗣 | 大和田 和男 | 鈴木 明子 | 渡邊 勝巳 | 寺門 勲 | 小池 正夫 | 小宅 清史 | 富山 豪 | 花島 進 | 寺門 厚 | 木野 広宣 | 萩谷 俊行 | 笹島 猛 | 君嶋 寿男 | 遠藤 実 | 福田 耕四郎 |    |
| 発議第 1 号<br>原田悠嗣議員に対する議員辞職勧告決議               | ○     | ○     | 除     | －      | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ×    | ○    | ○     | ○     | ×    | ○     | ×    | ○      | 可決 |
| 議案第 42 号<br>那珂市複合型交流拠点「道の駅」推進事業の賛否を問う住民投票条例 | ×     | ×     | ○     | －      | ×     | ×     | ×    | ×     | ×     | ×    | ○    | ×    | ×     | ×     | ○    | ×     | ○    | ×      | 否決 |

## 原田悠嗣議員に対する議員辞職勧告決議を賛成多数で可決

令和8年第2回定例会の初日である6月2日、「原田悠嗣議員に対する議員辞職勧告決議」が、賛成多数で可決されました。

決議文は以下のとおりです。

本件は、原田悠嗣議員が、勤務実態が乏しいとされる法人等の役職への就任を通じて社会保険等に参加し、国民健康保険料の負担を回避したのではないかと疑念を市民に抱かせた、いわゆる「国保逃れ」と指摘される行為に関するものである。

なお、本決議は、同議員の行為について法令違反の有無を議会として断定するものではない。しかしながら、市民から選ばれた議員として、公的制度の公平性に疑念を抱かせ、議会に対する市民の信頼を損なった政治的・道義的責任を問うものである。

本件については、所属していた政党においても不適切な行為として処分が行われ、同議員は同党を離党するに至っている。また、同種の事案については、他の地方議会においても、市民の信頼を著しく損なうものとして、議員辞職勧告決議案が提出され、又は可決されるなどの対応が取られている。

国民健康保険制度は、市民がそれぞれの負担能力に応じて保険料を負担し、互いに支え合う社会保障制度である。とりわけ、市議会議員は、市民全体の代表者として、公的制度の趣旨を尊重し、市民の疑惑を招かないよう、高い倫理観と説明責任をもって行動することが求められる。

那珂市議会基本条例第21条は、議員に対し、倫理性を常に自覚し、良心及び責任を持ってその責務を果たすとともに、品位の保持に努め、市民の疑惑を招くことのないよう行動しなければならないと定めている。また、那珂市政治倫理条例は、市政が市民の厳粛な信託の上に成立するという民主主義の原理に基づき、議員の政治倫理の確立を図ることを目的としている。

しかしながら、本件は、公的医療保険制度の公平性に疑念を抱かせるものであり、議員としての品位及び議会への信頼を著しく損なうものである。

さらに、令和8年5月26日に開催された全員協議会において、同議員から説明が行われ、各議員からの質疑も行われた。また、議長から同議員に対して嚴重注意が行われたところである。しかし、全員協議会における説明及び質疑応答を経ても、市民の疑念が払拭されたとは言えず、議長による注意をもって議会としての責任ある対応が尽くされたとは言えない。

また、党籍の有無や離党したことは、市民から負託を受けた市議会議員としての政治的・道義的責任を直ちに解消するものではない。市民に対する十分な説明と信頼回復の具体的な行動が求められる中、同議員が引き続き議員の職にとどまることについては、議会全体に対する市民の信頼を損なうものと受け止めざるを得ない。

よって、那珂市議会は、原田悠嗣議員に対し、本件の重大性を厳粛に受け止め、市民の信頼を回復するため、自らその政治的・道義的責任を明らかにするとともに、速やかに那珂市議会議員を辞職することを強く求める。

以上、決議する。

令和8年6月2日

那珂市議会

※辞職勧告決議は、法的拘束力を持ちません。



## 生成AIを活用した教育の可能性を検証します

○学校教育情報化推進事業 88万7,000円

学校教育の情報化を推進するため、文部科学省の「生成AIパイロット校事業」に係る経費を計上しました。

この事業は、学校現場で生成AIを安全・効果的に活用するため、授業や校務での使い方、効果や課題を検証する取り組みです。特徴や留意点を踏まえ、教育活動や教職員の業務改善につなげていきます。

事業費には、専門家謝礼、研修を行う講師謝礼、旅費、消耗品費などが含まれています。

### 質疑応答

Q 専門家と講師は別々に招くのですか。

A 専門家は生成AIの専門的知識を持ったかたである一方で、講師は概念的・実践的な研修を行うために依頼する予定です。

## 小中学校の学習用タブレット端末を更新します

《令和8年度》

○対象 6年生から9年生の児童生徒用  
および教員用端末

○契約金額 1億1,620万2,091円

○購入台数 1,907台

小中学校の学習用タブレット端末の配備から5年が経過し、更新時期を迎えることから、物品売買契約を締結します。

購入する端末は、前回と同様のiPadで、キーボードケース、タッチペン、イヤホン変換ケーブル、端末管理ツール、5年間保証も含まれています。

なお、1年生から5年生のタブレット端末は、令和9年度に更新予定です。

### 質疑応答

Q 新たに購入する端末には予備機も含まれていますが、旧端末を予備機として使うことはできないのですか。

A 新しく購入する端末に不具合が出た場合に備え、予備機として90台を購入する予定です。旧端末については、バッテリーの劣化や、今後OS更新の対象外となる可能性があることから、代替機として使用することは現実的ではありません。

## 那珂市複合型交流拠点「道の駅」推進事業の賛否を問う ～住民投票条例制定について～

市民から市長に対し、道の駅整備事業の賛否を問う住民投票を実施するための条例を制定するよう、直接請求がありました。その後、市長から議会へ条例制定の議案が意見を付けて提出されたため、6月29日、第2回臨時会で直接請求に係る条例審査特別委員会を設置し、議案の審議を行いました。

7月2日の特別委員会での議員間討議では、多くの意見が出されました。これまで市民に対して市は説明不十分であり、法定署名数の約4倍の3,714筆の署名が集まったことを重く受け止め、道の駅計画に賛成か反対か市民に問うべきという意見が出ました。その一方で、〇×で民意を本当に反映できるのか、これまで議会で5年以上議論を行っており、多面的な情報に基づいて熟議を尽くしている、市民に対する情報提供が不足しているのならば、さらなる情報公開は必要であるが市民への情報不足を解決する手段として住民投票が適しているのか疑問であるといった意見もありました。

7月6日の本会議においても、市民の不安が解消されていない現状から、住民投票をするべきという賛成討論や、行政手続きが進んだ段階での住民投票することへの懸念など反対討論がありました。

採決の結果、賛成少数で否決されました。

### 直接請求制度とは

間接民主制を補完する仕組みとして、当該地方公共団体の有権者（選挙人名簿に登録された者）の一定数以上の署名をもって、条例の制定や議員・市長などの解職を請求することができる制度です。

条例の制定は、地方自治法第74条の規定に基づき、50分の1以上の署名をもって請求することができます。

### 直接請求から臨時会まで

- ・代表請求者が署名簿を市選挙管理委員会に提出
- ・選挙管理委員会の審査により有権者の50分の1の署名を確認
- ・請求代表者から市長へ条例制定請求書の提出

↓  
市長が意見を付けた条例制定議案の提出

6月29日

議案の上程  
(市長から提案理由の説明)  
↓  
直接請求に係る条例審査  
特別委員会を設置  
(大和田議長を除く17名)  
委員長：小池正夫  
副委員長：萩谷俊行

7月2日

請求代表者3名の意見陳述  
特別委員会へ付託  
↓  
特別委員会で審査

7月6日

委員会での審査結果の報告  
討論・採決

# 一般質問



《質問者 13名》

## P 7 寺門 厚 議員

- ◇原子力災害時における広域避難先について
- ◇那珂市観光振興について
- ◇シニアボランティア活動について

## P 7 富山 豪 議員

- ◇那珂市が結ぶ様々な協定とその今後について
- ◇瓜連地区における都市計画と企業進出について

## P 8 木野 広宣 議員

- ◇消防行政について
- ◇R S ウイルス感染症について

## P 8 渡邊 勝巳 議員

- ◇家庭ゴミの排出について
- ◇歩行者の夜間の安全確保について

## P 9 花島 進 議員

- ◇ゴミ収集方法の変更について
- ◇デジタル教科書について
- ◇小中学校教師の勤務管理について
- ◇国民健康保険税について
- ◇道の駅関連の住民投票について
- ◇外国人労働者について

## P 9 鈴木 明子 議員

- ◇酷暑期における安全な通学環境の確保について
- ◇子どもを暴力から守る支援体制の強化について
- ◇障がいのある人を支える「親亡き後」の対策について

## P 10 原田 悠嗣 議員

- ◇立ち止まるべきと考える道の駅計画について
- ◇人口減少対策について
- ◇市の副次核形成の推進について
- ◇農業の振興について

## P 10 遠藤 実 議員

- ◇道の駅について

## P 11 笹島 猛 議員

- ◇自主財源の拡充について
- ◇ふるさと納税の税収増を図る方策について

## P 11 小宅 清史 議員

- ◇生活困窮家庭の子どもの現状と改善を
- ◇今、教育現場で起こっていることを問う
- ◇少子化対策！マッチング集会の再開を
- ◇道路の愛称を考えよう

## P 12 小池 正夫 議員

- ◇人口減少社会の対応について
- ◇アグリビジネス戦略について

## P 12 桑澤 直亨 議員

- ◇こども誰でも通園制度を踏まえた子育て支援の再整理について

## P 13 榊原 一和 議員

- ◇剛毅果斷  
～水戸ホーリーホック本拠地移転という転機を地域力向上へつなぐ那珂市の戦略～

寺門 厚議員

## 那珂市観光振興、市内観光拠点への誘客戦略どうする

デジタル技術活用を取り組みを検討



Q 今那珂市は、植物園「林音」の来場者が9万5000人に達し、道の駅の開業や国道・市道の4車線化、水戸ホーリーホックJ1昇格など、那珂市の歴史上最も観光ポテンシャルの高い時期となっています。一方で林音やいい那珂フェスティバル来場者の市内回遊データがなく、体験型コンテンツやデジタル施策も未整備で、追い風を市内経済に十分結びつけられていない現状です。市は、今年度いい那珂観光活性化事業を実施しますが、具体的取り組みはありますか。また、体験型コンテンツ・デジタルスタンプリー等の検討状況について伺います。

A 産業部長 専門事業者による観光資源・ニーズ、

コンテンツ先進事例等調査を進めます。また、デジタル技術を活用した取り組みを進めます。

Q 観光客が来て終わりではなく、「回って・使って・また来る」仕組みづくりが必要で、地域通貨やポイント制度を活用してはいかがでしょうか。

A 産業部長 今年度のデジタル商品券の反応を踏まえ研究を進めます。

Q 那珂市観光振興について市長の見解を伺います。

A 市長 観光振興の追い風を市内産業活性化に繋げ、経済循環を生み出す取り組みを進めます。

議員のひとこと

今那珂市は、観光振興の絶好機、攻めの姿勢で取り組みを。

富山 豪議員

## 瓜連、平野地区を一体的に捉えた土地利用の検討を

現時点での、変更予定はありません



Q 瓜連地区では、これまで6回の都市計画の変更が行われましたが、本市北西部地域では依然として、人口減少が続いており、その効果は限定的であったと感じています。

一方で、国道118号線4車線化や、県植物園リニューアル、那珂インターチェンジ周辺開発、さらには道の駅整備など本市北西部地域と瓜連地区を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした交通基盤や

地域拠点の整備が進む中、地域の将来を見据えた新たな土地利用のあり方を検討していく必要があると考えています。そこで現在、飛び地となる瓜連地区と平野地区の市街化区域を連担させ、一体的に捉えた大胆な

区域区分や用途の変更が、将来的な企業誘致や地域の活性化につながると考えるが、本市の考えを伺います。

A 建設部長 平野杉本線沿線は、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農用地区域となっており、また瓜連地区の市街化区域の土地利用状況を踏まえ、現時点では区域区分や用途地の変更を行う予定はありません。今後、民間企業による進出など具体性、現実性のある開発計画などを契機に、まちづくりの観点での整合性を踏まえた上で、必要に応じて都市計画制度を活用していきます。

議員のひとこと

地域活力を維持する為にも、新たな視点での検討を願う。



木野 広宣 議員

## 感震ブレーカー設置の補助制度についての考えは

県の補助制度を活用し導入を視野



Q 近年、全国各地で大規模地震が発生しており、今後も首都直下地震や南海トラフ地震などの発生が懸念されています。阪神・淡路大震災では、多くの尊い命が失われました。死亡された人の原因の一番は、倒壊した木造家屋の転倒や圧死や窒息死といわれています。

石川県輪島市の大規模火災は、電気機器や電気関係の配線などが発火する電気火災が原因と考えられています。電気火災は過去の地震でも多発しています。地震に伴う電気機器等からの出火を防ぐには、強い揺れを感じると自動的に電気を遮断する感震ブレーカーが有効であります。

感震ブレーカーの設置状況と認知度について伺います。

す。

A 消防長 感震ブレーカーはいくつかのタイプがあります。設置環境や目的により異なります。設置率は低い状況と思われますが、普及促進に努めていきます。

Q 感震ブレーカー設置に対する補助制度について伺います。

A 消防長 感震ブレーカーは通電火災を防ぐ手段で、補助制度を導入する自治体が増えており、本市は普及促進から、県の補助制度を活用し、市独自の導入を視野に、感震ブレーカーの認知度や普及促進につなげていきたいと考えます。

議員のひとこと

感震ブレーカーは有効な手段。普及促進に期待。

渡邊 勝巳 議員

## 助け合い型ごみ出しモデル事業の状況は

体制が整ってなく支援できてない



Q 体の不自由な高齢者が、ごみ袋を集積所まで運ぶのは、大変な苦勞と危険性を伴います。介護や支援の必要な高齢者のみの世帯の実態を確認するため、令和4年度末と令和7年度末の要介護等の認定者数を伺います。

A 保健福祉部長 令和4年度末で要支援のかたが631名、要介護のかたが2142名。令和7年度末で要支援のかたが826名、要介護のかたが2256名です。

Q 要支援のかたが約1.3倍増であり、令和4年に調査したごみ出し支援の対象者の116名に対し、150名程度にまで増加している可能性があります。そこで、現在実施している

「助け合い型ごみ出しモデル事業」の状況を伺います。

A 保健福祉部長 支援体制が整ってなく、支援を受けているかたはいません。

Q 本制度に代わる、戸別収集等による支援制度の新設が必要であり、その事業には525万円の事業費が想定されます。これにはごみ袋1枚当たり2・3円の負担で事業の実施が可能です。今回の値上げの中で検討して欲しいのですが、昨年度のごみ袋の年間販売収入額はいくらか伺います。

A 市民生活部長 年間販売収入額は、令和7年度で3238万9000円です。

議員のひとこと

高齢者等への新たなごみ出し支援制度の検討を願う。



花島 進 議員

## ゴミ収集方法の変化で 何が変わったのか

燃やすゴミの量が減っています



Q ゴミ収集の方法が変わりました。4月収集したプラスチックゴミの量と燃やすゴミの量はいかがですか。

A 市民生活部長 令和8年4月からプラスチック製容器包装の分別収集を開始しました。市民の皆様からは、分別したら想像していたよりも、プラスチック製容器包装の量が多いとの声をいただいています。

本市が4月に収集したプラスチック製容器包装は23・7トンで、家庭から出た燃やすしかないゴミは793・1トンとなっています。昨年4月の可燃ゴミの収集量825・4トンと比較しますと、32・3トン減少しています。

Q 我が家の実感では、プラスチックゴミの容積が

かなり大きいと感じています。

もう一つの問題は、燃やすゴミの処分費用、資源化するゴミの処分費用が変わるだろうということです。処分費用変化の実際あるいは見込みはいかがですか。

A 市民生活部長 収集方法を変えて間もないことから、現時点では処理費用の変化について把握できていませんが、新たなプラスチック製容器包装の収集により、収集に関わる人件費やリサイクル事業者へ引き渡すための輸送費など、新たな費用が必要となっています。

議員のひとこと  
処分費用の変化にも注目していきます。

鈴木 明子 議員

## 子どもを暴力から守る 那珂市の取り組みについて 相談体制の強化に努めます



Q 昨年度の市内小中学校のいじめ認知件数は。

A 教育部長 小学校384件、中学校87件、合計471件であり、初期段階から積極的に認知している成果と考えています。

Q 児童虐待相談件数は。

A 保健福祉部長 虐待相談は約20年で3倍となり、心理的虐待が6割を占めています。

Q 市として、子どもたちから寄せられる相談内容をどこまで把握できているのかは、課題が残っています。他市では、教育委員会が直接相談を受け、専門の相談員が対応するといった、比較的低予算で実施できる工夫も行われています。どのようなことで悩み、心を痛め、助けを求めているのか、

より直接的に把握し、対策することが必要です。子どもの命と成長を支えるためにできることは多くあります。一人ひとりの子どもが、心の不調を抱えたときにも安心して頼れる環境をつくることは、行政の重要な責務の一つです。市長は相談体制の質とアクセスをどう高めるお考えですか。

A 市長 学校での相談支援や専門的人材の活用、教育支援センターでの相談のさらなる充実に加え、タブレットを活用した相談手段の研究を進め、児童生徒一人ひとりに寄り添った相談体制の強化に努めます。

議員のひとこと  
子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを。

原田 悠嗣議員

## 道の駅事業で財政が圧迫されると思うがどう考えるか

持続可能な財政運営に取り組む



**Q** 現在の計画では全天候プレイゾーンのランニングコスト年間約2000万円、公益部門運営として約1800万円、市債償還として約7800万円を合わせた約1億1600万円を、市が予算で計上することとなると思うが、間違いないですか。

**A** 産業部長 収支計画では議員ご指摘のように試算しているところですが、地域子育て支援センターの統廃合なども踏まえ、予算額については可能な限り市財政の負担抑制を念頭に引き続き精査していきます。

**Q** 道の駅事業により15年間毎年約1億円、市の財政が圧迫されることになるが、これについてどのような考えていますか。

**A** 企画部長 道の駅建設に限らず、施設の建設等に係る市債の元利償還金や運営経費については、後年度の財政負担となることを踏まえ、引き続き市として持続可能な財政運営に取り組んでいかなければならないと考えています。

**Q** 令和8年度予算のワークショップ運営業務費199万円の内訳を伺います。

**A** 産業部長 今後予定しているワークショップの実施に先立ち事業に対する機運の醸成を図るため、今年度は藤森氏による講演会を予定しており、その開催に係る費用となっております。

### 議員のひとこと

道の駅の賛否等を問う市民アンケートの実施を。

遠藤 実議員

## 市民説明会で道の駅計画をもっと市民に説明するべき

説明会の開催は慎重に判断します



**Q** 物価高騰・人件費高騰・資材高騰が止まらず、人口急減社会の中、ハコモノ行政の是非を考えざるを得ません。非常に不透明な情勢で道の駅計画を進めるにあたっては市民にもっと説明する必要と責任があるのではないでしょうか。市民説明会を市内何か所でも開催し、多くの市民に理解していただくような説明責任を果たしていただきたいが、いかがでしょうか。

**A** 市長 パブリックコメントの実施に加え、市内2か所で市民説明会を開催し、多くの市民に参加していただきました。また電話やメール、窓口等にお寄せいただく個別の質問に対しても担当課が対応しています。現時点においては、基

本設計から施設配置等の大きな変更はないことから追加の説明会開催については慎重に判断します。

**Q** そもそも説明が不足しているので説明会を開催していただきたいです。また、変更という意味では概算事業費も1・5倍に膨れ上がり、営業利益も縮減され、地域子育て支援センターも入ります。この事業の責任者は誰なのでしょうか。

**A** 市長 本事業の最終責任者は市長の私なので、今後とも事業に関する情報を積極的に発信していくとともに、市議会にも引き続き丁寧な対応に努めます。

### 議員のひとこと

市民にもっと向き合い、市民と共に行政を進めるべき。

笹島 猛 議員

利益はほぼゼロのふるさと  
納税、税収増を図る方策は  
体験型返礼品の充実を図ります



Q 生活上必要なサービスを継続するためには自主財源を生み出すことが必要で、ふるさと納税は非常に大きな財源が見込める制度です。

本市の実績ではその制度をうまく活用しきれておらず県内でも下位に低迷しています。

地方交付税により赤字がないと言っているが、大幅税金確保に至っていない中、何かこの事業をやっている意味を感じません。限られた資源の中でどう返礼品を発掘しているのか伺います。

A 企画部長 発掘については、市内事業者の口コミやSNS、職員からの情報提供、市のホームページや広報紙で募集し、地場産業基準の適合性を慎重に確認

し取り扱っています。

Q ふるさと納税の推進にあたっては、豊富な経験と積極的な企画力・行動力が求められます。また、寄せられた寄付金は、各事業の貴重な財源とするともに、地場産業の活性化にも一定の効果があります。ふるさと納税制度を積極的に活用して財源を増やす考えがあるのか伺います。

A 企画部長 既存返礼品の磨き上げや新たな返礼品の開拓、宿泊券などの体験型返礼品の充実、効果的な情報発信などを進めるとともに、事業者との連携の強化を図ります。

議員のひとこと  
何かこの事業をやっている意味を感じません。

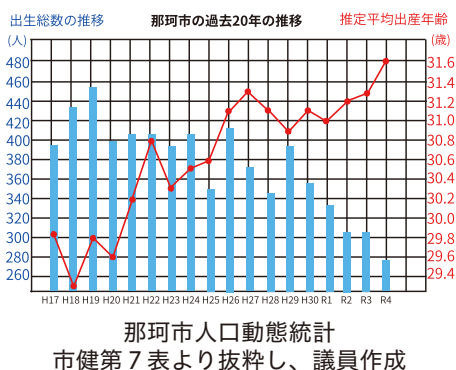
小宅 清史 議員

少子化対策に「まちコン」  
を復活させるべきでは  
予算化して復活させたい



Q 出生率が19年連続で減少し、一方で母親の出産時平均年齢は年々上がっています。少子化を止めるためには結婚機会の創出が重要です。かつて那珂市では商工会青年部を中心として「まちコン」が開催され、多くの若者に出会いの機会を提供してきました。この事業は若者同士の交流や地域とのつながりを生み出す大変意味のある事業だったと考えています。これは復活させるべきです。

A 保健福祉部長 婚活パーティーは少子化対策や次世代への支援という観点から重要な取り組みの一つであると認識しています。まずは包括連携協定を締結している事業者等と意見交換を行い、実施の可能性や手法について探ってきたいと考えています。議員ご指摘の「まちコン」については、国補助金を確保、予算化した上で復活させたいと考えています。



議員のひとこと  
結婚する環境づくりは少子化対策の重要な要素です。



小池 正夫 議員

## 第2期となる那珂市 アグリビジネス戦略は

持続可能な農業の推進が加わりました



Q 第2期となる那珂市アグリビジネス戦略はどのように変わったのでしょうか。

A 産業部長 本市の第3期となる地方創生の総合戦略である「那珂市デジタル田園都市構想総合戦略」における農業で稼ぐいい那珂プロジェクトを具体化するものです。第1期の戦略では農業の収益向上と担い手の育成を基本目標として掲げていましたが、第2期戦略は、新たに持続可能な農業の推進を柱に加え、基本目標として推進していくものです。

Q 新たに追加となった基本目標「持続可能な農業の推進」とは具体的にはどんなものでしょうか。

A 産業部長 国は、食料生産から消費までの全て

の過程における環境負荷を低減し、循環型の食料システムを構築するための包括的な戦略として、令和3年5月にみどりの食料システム戦略を策定し、環境に配慮した持続可能な食料システムの構築を目指しています。これらの状況も踏まえ、新たに基本目標に追加した「持続可能な農業の推進」では、有機農業をはじめとした「みどりの食料システム戦略」の推進、減農薬、減化学肥料による「環境保全資源循環型農業の意識の醸成」など環境に優しい農業を推進していくものとなっています。

### 議員のひとこと

引き続き農業従事者に収益の上がる施策をお願いします。

桑澤 直亨 議員

## 市民目線で目的や困りごと から探せる導線の整備を

必要な情報をより効果的に届ける



Q 子育て支援制度は、充実すればするほど制度の数が増え、どこを見ればよいのか、どこに相談すればよいのか分かりにくくなる面があります。現在本市で行っている制度名から探す情報発信だけでなく、困りごとや目的から支援にたどり着けるように、既存のホームページや子育てガイドブックなども含めた情報発信の方法を見直す考えはありますか。

A 保健福祉部長 令和7年11月からは新たにイン스타그램を活用した情報発信を開始しました。今後も市民の皆様にとって見やすく、利用しやすいものとなるよう、ホームページの利便性向上や、子育てガイドブックのさらなる見直しを

図るなど、必要な情報を効果的に届けられるよう努めます。

Q 子育て支援全体を市民目線で分かりやすく再整理し、必要な家庭に必要な支援が届く仕組みをどのように充実させていきますか。

A 市長 子育て支援は妊娠期から就学後まで切れ目なく行うことが重要です。一方で制度は多岐にわたり、市民にとって分かりにくい面があるため、困りごとに沿って支援全体を整理し、相談窓口や情報発信、関係機関との連携を強化し、必要な家庭に必要な支援が届くよう努めます。

### 議員のひとこと

困ったとき、必要な支援につながるまちへ。

榊原 一和議員

水戸ホーリーホックの本拠地  
移転を地域力向上へ繋ぐには

交流人口拡大、知名度向上に繋ぐ



Q 水戸信用金庫スタジアムがホームスタジアムになることで、ホーム戦略、地域連携はどう考えていますか。

A 教育部長 プロスポーツを身近に感じる機会であると受け止めています。これまで同様、ホームタウンのひとつとしてホームタウン推進協議会と連携、チームを盛り上げていきます。

Q クラブと連携強化はもとより、具体的な協議などは行っていますか。

A 教育部長 広報、プロモーション、スタジアム周辺の駐車場確保への協力依頼がありました。今後、協議を進めていきます。

Q 駐車場確保の協力依頼について、市としてどのように協力していきますか。

A 教育部長 駐車場候補

選定や確保に協力していきます。クラブ側でシャトルバスが可能な際は、候補地のひとつとして、市役所職員駐車場も考えられます。

Q J1昇格により来場者の大幅増加が見込まれる中、市内商業者等との連携はどう考えていますか。

A 教育部長 推進協議会と連携強化し、様々な取り組みを進めていきたいと思えます。また開業予定の道の駅も、飲食・販売、観光情報の発信等、大きな役割を果たすものと考えています。こうした施設も活用しながら、地域経済活性化に繋がる取り組みを進めていきます。

議員のひとこと  
車・鉄道の交通導線と商業連携は市最大のチャンスだ。

## その他の 議会活動レポート



講師 ひろせ かずひこ  
廣瀬 和彦氏

6月26日、(株)廣瀬行政研究所 代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に招き、政務活動費についての議員勉強会を開催しました。

勉強会では、本市の政務活動費の手引きや判例を基に制度の趣旨や支出基準等のルールについての説明がありました。本市の手引きは、厳格な基準が設けられており、使途の透明性の確保がされているとのことでした。

また、議員個人で発行している活動報告書についても添削いただき、政務活動費で発行する際の注意点なども再確認をしました。

今後も、より一層政務活動費の適正な執行と運営に努め、市民に開かれた議会を目指していきます。



勉強会の様子

# 議会を傍聴しませんか

自由に見たり、聴いたりできるんです



## 令和8年9月定例会日程（案）

| 日   | 月                | 火             | 水             | 木               | 金                | 土  |
|-----|------------------|---------------|---------------|-----------------|------------------|----|
| 9/6 | 7                | 8             | 9             | 10              | 11               | 12 |
|     | 本会議<br>(開会)      |               | 本会議<br>(一般質問) | 本会議<br>(一般質問など) |                  |    |
| 13  | 14               | 15            | 16            | 17              | 18               | 19 |
|     |                  | 総務生活<br>常任委員会 | 産業建設<br>常任委員会 | 教育厚生<br>常任委員会   | 原子力安全対策<br>常任委員会 |    |
| 20  | 21               | 22            | 23            | 24              | 25               | 26 |
| 27  | 28               | 29            | 30            | 10/1            | 2                | 3  |
|     | 議会運営委員会<br>全員協議会 | 本会議<br>(閉会)   |               |                 |                  |    |

※会議は、原則として午前10時開会です。

### 傍聴方法

- 本会議の受付所 市役所3階傍聴席前
- 各委員会の受付所 市役所2階全員協議会室前
- 受付簿に年代およびお住まいの地域を記入してから入室

### 議会映像視聴方法

- 本会議、臨時会の様子をライブ配信しています。お手持ちのスマートフォンやパソコンで視聴できます。



### 請願・陳情の提出

- 9月定例会での審議を希望される場合には、8月28日(金)午後5時までに議会事務局へ提出してください。

### 那珂市議会公式SNS



## 編集後記

市内各地で夏祭りが始まり、子どもたちの元気な声がまちに広がる季節です。にぎやかな雰囲気を楽しみな一方で、熱中症の心配も高まります。こまめな水分補給や休憩を意識し、ご自身の体調を一番に考えた、心と体にやさしい夏をお過ごしただけだと願っています。本広報紙が、議会での議論やまちのこれからを身近に感じていただく、ささやかなきっかけとなっていたら幸いです。

鈴木 明子

### 議会広報委員会

委員長 桑澤 直亨  
副委員長 鈴木 明子  
委員 榊原 一和  
委員 渡邊 勝巳  
委員 小池 正夫  
委員 遠藤 実